

2020年度 京都大学フィールド科学教育研究センター
舞鶴水産実験所 公開実習「若狭湾秋季の水産海洋生物実習」実施要項 Ver.1
2020/07/17

1. 授業科目：

〔若狭湾秋季の水産海洋生物実習〕

実習の履修後に「実習修了証」を発行する。実習修了証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。なお、本実習は2単位相当としている。実習期間中は水産実験所の宿泊施設に合宿する。実習の詳細については次頁「**1.1. 実習内容**」を参照すること。

2. 実施施設：京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

3. 実施期間：2020年9月23日（水）～9月26日（土）

※23日は、西舞鶴駅に13時00分集合、26日は西舞鶴駅に13時00分散の予定

※実習の一環として、9月28日（月）にZoomによるオンライン発表会を行う予定

4. 対象学生：学部生の全年次（文系・理系を問わない）。京大生も受講可。

5. 定員：5名

6. 新型コロナウイルス（COVID19）感染拡大予防：

京都大学の感染拡大予防マニュアルに従うとともに、舞鶴水産実験所の特性を考慮した対策指針に則り、今年度は特別に以下の対策のもと実習を実施する。ただし、緊急事態宣言、京都大学の方針、気象警報の発令などにより実習を中止する可能性がある。場合によっては、実習期間中であっても中止となる可能性もある。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/>

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/documents/200709_5.pdf

日程と内容：

- ・宿泊期間を短縮するため、データ解析やレポート作成は、帰宅後に各自で行う

参加条件：

- ・実習前2週間、健康に異常がなく、海外渡航やCOVID19感染者との濃厚接触もないこと
- ・実習中、健康に異常が認められた場合、当日中に家族等に迎えに来てもらうことができること
- ・健康以外の理由により、キャンセルする可能性がほとんどないこと

異常：発熱（平熱より高い、37.5度以上を目安）、咳、咽頭痛、倦怠感、味覚障害等、COVID19感染が疑われる症状

生活様式：

- ・各自，マスクと体温計を持参する
- ・体温を1日1回測定して異常が認められた場合はその日の担当教員に報告する
- ・食事は個別にとる
- ・宿泊棟の部屋やシャワーブースは各自清掃する
- ・体調に異常が認められた場合は家族等に迎えに来てもらう

7. 必要提出書類：

- ・受講願
- ・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険加入証明書（領収書等のコピーでも可）

8. 申込締切：2020年8月21日（金）必着

9. 参加費用：5,700円+実費

10. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 E-mail：maizuru@adm.kais.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール（maizuru@adm.kais.kyoto-u.ac.jp）にて早めに受講意思を連絡し、担当職員から必要書類を受け取ること。受け取った書類に必要事項を記載のうえ、担当職員へメールを送付することで受付を完了とする。ただし、書類は個人情報を含むため、必ずパスワードをかけること。

11. 実習日程と内容：

- 1日目 実習説明，魚類学実習
- 2日目 緑洋丸乗船調査
- 3日目 調査試料分析
- 4日目 シュノーケリング実習

（自宅でレポートとりまとめとオンライン発表会を予定）

魚類の種同定方法や形態観察を行うことで魚類学についての基礎的知識を得る。教育研究船緑洋丸に乗船し、舞鶴湾および若狭湾西部海域の由良川河口域から丹後半島沖（水深5mから200m）において水温・塩分などの海洋環境の測定を行い、観測機器の使用法を学ぶ。また、桁網（小型底曳き網）を用いて底生生物（魚類・無脊椎動物）を採集し、生活環境の違いによる底生生物群集の変化を考察する。シュノーケリングの基礎技術を習得し、若狭湾の沿岸に生息する生物の観察を行う。